

平成17年度 環境保全活動報告書



(玄関先のツツジ)

KSK 湖国精工株式会社

湖国精工株式会社 環境方針

[環境理念]

湖国精工株式会社は、軸受産業等をサポートする機械設備メーカーとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、併せて琵琶湖と共生することを意識して事業活動のあらゆる面で環境優先を配慮して行動する。

[行動指針]

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し積極的に行動する

1. 環境関連の法律・規則を遵守し、環境汚染の未然防止に努め、技術的・経済的に可能な範囲で環境保活動の継続的な改善を図る
2. 環境管理の組織・運営を整備を整備し、当社の環境側面に関係して適応可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する
3. 環境負荷を軽減させるため次の目的及び目標を明確にして取り組む
 - (1) 廃棄物の削減および有効利用
 - (2) 社内外における省エネルギー活動
 - (3) グリーン適合製品の調達
4. 環境に関する社会活動により、地域社会に貢献する

環境保全のあゆみと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負の少ない持続可能なまちづくりに自主的、主体的に行動するとともに協働して取組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて、環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回市に報告する。

昨年に続き、平成17年度の取組み結果を報告します。

主な環境取組目標

廃棄物の削減及び有効利用

- 木枠・段ボール等の分別と持込む業者への返却
- 原単位電力量の削減
- グリーン適合製品調達範囲拡大

危険物の貯蔵量の削減

- 少量保管量以下を目標に最低限貯蔵所を確保

産業廃棄物の削減

- 含油排水の削減
- 機械部品洗浄の不水化

用紙の削減(コピー用紙購入量)

- 電子データの活用

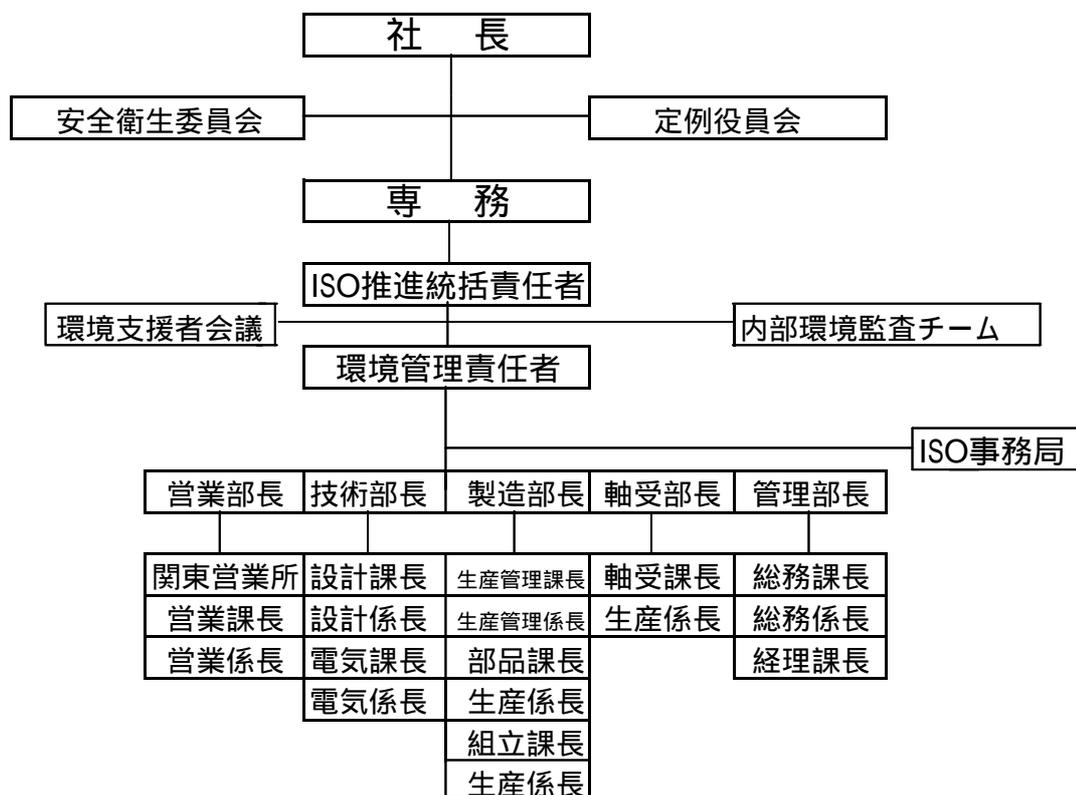
環境に関する社会活動(地域社会への貢献)

- 盛越川の定期清掃などに参画

アイドリングストップの要請

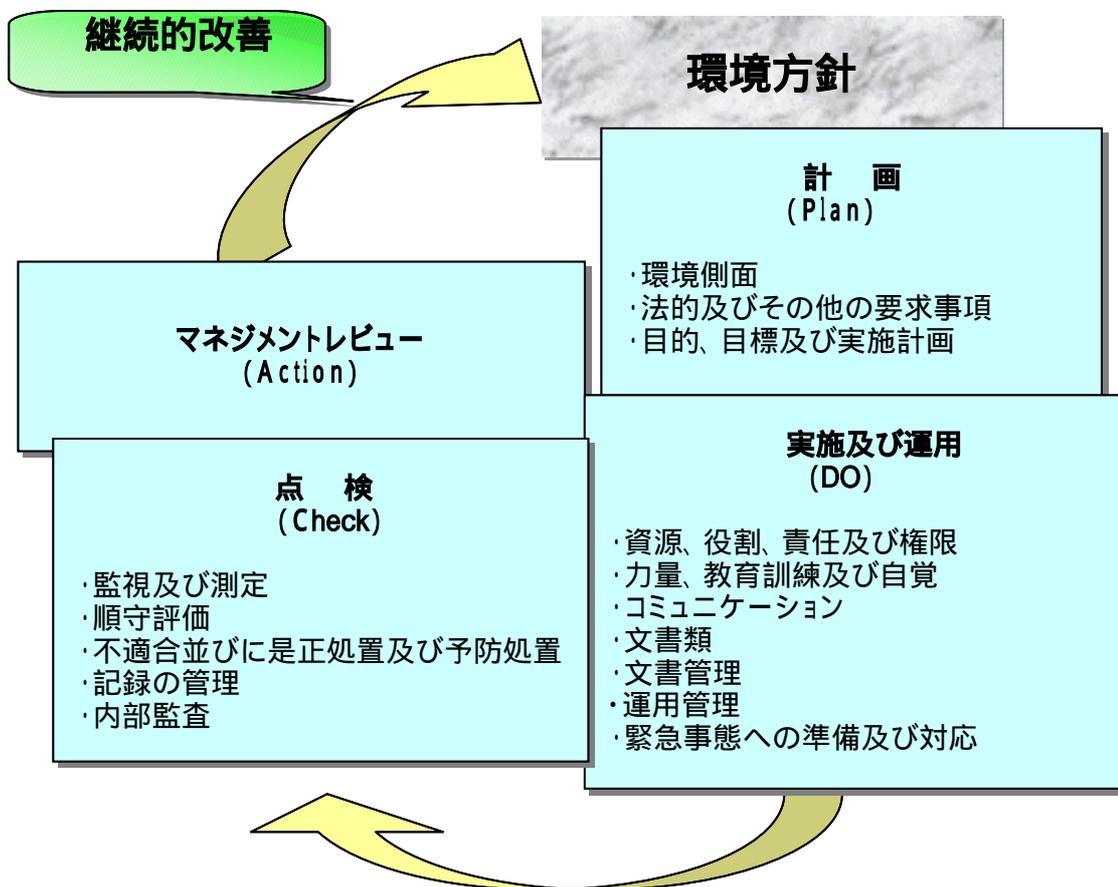
- 構内停車時の励行

環境管理組織体系図



環境マネジメントシステムについて

(P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム)

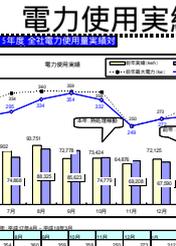
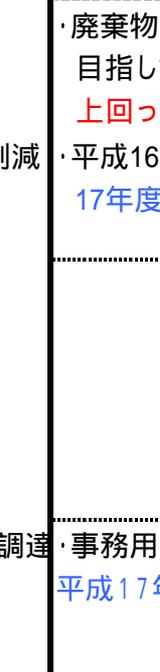
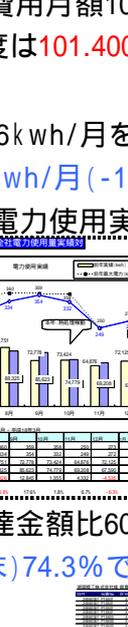


- ・P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
- ・汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行う。
- ・環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行う
- ・環境影響の原因である環境側面を取上げ、この管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。
- ・環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
- ・トップダウンで行う全員参加のシステムである。
- ・あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行われる。

環境目的・目標及び実施計画

平成 17 年 度		
	目 的	目 標
環境 方針	廃棄物の削減 及び有効利用	・木枠・ダンボール等の分別と持込み業者への返却 ・雑廃ゴミ減量化(100.000円/月を10%節減)
	社内外における 省エネルギー 活動	・使用電力量の削減
	グリーン適合製品 の調達	・グリーン適合製品調達範囲拡大
著しい 環境 側面	危険物の貯蔵量 の削減	・少量保管量以下を目標に最低限の少量貯蔵所を 確保 ・塗料開缶品の削減
技術上 の課題	産業廃棄物の 削減	・含油廃水の半減 (機械部品洗浄の不水化) ・ドライアイス洗浄の実用性の確認
事業上 の要求 事項	用紙の削減	・コピー用紙購入量 ・電子データの活用
利害 関係 者の 課題	環境に関する 社会活動 (地域社会への貢献) アイドリングストップ の要請 環境に優しい 車両の購入 地球温暖化防止 工場周辺の騒音 調査	・盛越川の定期清掃などに参画 (ふるさと盛越川を愛いする会に参加) ・構内停車時の励行 (外部業者へのPR) ・トヨタプリウスを購入する (平成18年3月) ・空調機の電気からガスへの切替え ・本社工場周辺の騒音調査を実施する (平成18年2月16日)

環境管理活動実施報告 1

平成 17 年 度																																																												
	施 策																																																											
環境 方針	<p>・持込業者へダンボール等の引き取り要請</p> <p>・引き取り要望書を出入業者へ配布する。 要望書</p>  <p>・返却場所の設置</p> 																																																											
	<p>・雑廃ゴミの減量化</p> <p>・廃棄物投棄運搬処理費用月額100,000円の10%節減を目指したが平成17年度は101,400円で目標に対し12.7%上回った。</p> <p>・全社使用電力の削減</p> <p>・平成16年度実績73,996kwh/月を下回る目標に対し平成17年度実績は71,996kwh/月 (-1.7%)である。</p> <p style="text-align: center;">電力使用実績</p>  <table border="1" style="width: 100%; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td>73,996</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>71,996</td> </tr> </tbody> </table>	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成16年度	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	平成17年度	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996																	
	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																														
平成16年度	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996	73,996																																															
平成17年度	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996	71,996																																															
<p>・グリーン適合製品調達範囲拡大</p> <p>・事務用品適合製品調達金額比60%以上を目標とする。 平成17年度(18年3月末)74.3%で目標を達成する</p>  <table border="1" style="width: 100%; font-size: small;"> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>52</td> <td>104</td> <td>1</td> <td>104 セツイ</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>234</td> <td>234</td> <td>0</td> <td>0 セツイ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>423</td> <td>2115</td> <td>1</td> <td>2115 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>50</td> <td>500</td> <td>1</td> <td>500 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>50</td> <td>250</td> <td>1</td> <td>250 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>30</td> <td>570</td> <td>1</td> <td>570 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>27.3</td> <td>163</td> <td>0</td> <td>0 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>162.5</td> <td>162</td> <td>1</td> <td>162 3F/ケイ</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>344.5</td> <td>4823</td> <td>1</td> <td>4823 セツウ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>390</td> <td>3900</td> <td>0</td> <td>0 ソム</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66835</td> <td>73.5%</td> <td>49092</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内、文具計</td> <td>66115</td> <td>74.3%</td> <td>49092</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2	52	104	1	104 セツイ	1	234	234	0	0 セツイ	5	423	2115	1	2115 3F/ケイ	10	50	500	1	500 3F/ケイ	5	50	250	1	250 3F/ケイ	19	30	570	1	570 3F/ケイ	6	27.3	163	0	0 3F/ケイ	1	162.5	162	1	162 3F/ケイ	14	344.5	4823	1	4823 セツウ	10	390	3900	0	0 ソム	合計	66835	73.5%	49092		内、文具計	66115	74.3%	49092	
2	52	104	1	104 セツイ																																																								
1	234	234	0	0 セツイ																																																								
5	423	2115	1	2115 3F/ケイ																																																								
10	50	500	1	500 3F/ケイ																																																								
5	50	250	1	250 3F/ケイ																																																								
19	30	570	1	570 3F/ケイ																																																								
6	27.3	163	0	0 3F/ケイ																																																								
1	162.5	162	1	162 3F/ケイ																																																								
14	344.5	4823	1	4823 セツウ																																																								
10	390	3900	0	0 ソム																																																								
合計	66835	73.5%	49092																																																									
内、文具計	66115	74.3%	49092																																																									

環境管理活動実施報告 2

		平成 17 年 度										
		施 策	実 施									
著しい 環境 側面	<ul style="list-style-type: none"> ・機械試運転時の切削潤滑油の客先へ返却 ・塗料缶置場の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・試運転で使用した支給品の切削油や潤滑油の残った分は機械の出荷時に客先へ返却した。(日本精工福島工場他) ・最大貯蔵量の確認を行った。 										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 15%;">最大貯蔵量</th> <th style="width: 25%;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第4類 第1石油類</td> <td style="text-align: center;">40L</td> <td>Vトップシンナー、シンナーS ハイメルシンナー、アセトン</td> </tr> <tr> <td>第4類 第2石油類</td> <td style="text-align: center;">28Kg</td> <td>Vトップ塗料、ハイメル塗料 Vトップ用硬化剤</td> </tr> </tbody> </table>			最大貯蔵量	種類	第4類 第1石油類	40L	Vトップシンナー、シンナーS ハイメルシンナー、アセトン	第4類 第2石油類	28Kg	Vトップ塗料、ハイメル塗料 Vトップ用硬化剤
			最大貯蔵量	種類								
		第4類 第1石油類	40L	Vトップシンナー、シンナーS ハイメルシンナー、アセトン								
		第4類 第2石油類	28Kg	Vトップ塗料、ハイメル塗料 Vトップ用硬化剤								
<p>上記貯蔵量のため、購入量は最低限に抑えたえず保存量を確認している。</p>												
技術上 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波洗浄機の調査 ・ドライアイス洗浄機 (ICE TECH) の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械部品洗浄の不水化のため、導入を計画しテストを行ったが洗浄力が弱く見送った。 ・機械洗浄の簡便化と時間短縮のため導入した。 ペレット状のドライアイスを高圧空気で吹き付け、油や錆の汚れを落とす。洗浄後のドライアイスはその場で蒸発する油や錆は含油排水タンクへ送り回収する。 										
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>										

環境管理活動実施報告 3

		平成 17 年 度																																																																																										
		実 施																																																																																										
	施 策																																																																																											
事業上の要求事項	<p>・コピー用紙購入量の把握と追跡</p>	<p>・前期6ヶ月(17/10～18/3)の月平均53,917枚に対し、今期(18/4～6)は51,542枚であり、-2,375枚(-4,4%)削減できた。</p> <div style="text-align: center;"> <p>全社コピー用紙購入実績</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption>全社コピー用紙購入実績データ (単位:枚)</caption> <thead> <tr> <th>月度</th> <th>10月度</th> <th>11月度</th> <th>12月度</th> <th>1月度</th> <th>2月度</th> <th>3月度</th> <th>56下平均</th> <th>4月度</th> <th>5月度</th> <th>6月度</th> <th>7月度</th> <th>8月度</th> <th>9月度</th> <th>56上平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 4</td> <td>32,500</td> <td>42,500</td> <td>50,000</td> <td>40,000</td> <td>37,500</td> <td>47,500</td> <td>41,667</td> <td>57,500</td> <td>30,000</td> <td>22,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40,167</td> </tr> <tr> <td>A 3</td> <td>7,500</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>15,000</td> <td>16,500</td> <td>11,000</td> <td>10,500</td> <td>7,500</td> <td>7,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10,250</td> </tr> <tr> <td>B 4</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>1,250</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>875</td> </tr> <tr> <td>B 5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40,000</td> <td>54,000</td> <td>59,000</td> <td>51,500</td> <td>52,500</td> <td>66,500</td> <td>53,917</td> <td>70,500</td> <td>37,500</td> <td>30,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>51,542</td> </tr> </tbody> </table>	月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	56下平均	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	56上平均	A 4	32,500	42,500	50,000	40,000	37,500	47,500	41,667	57,500	30,000	22,500				40,167	A 3	7,500	9,000	9,000	9,000	15,000	16,500	11,000	10,500	7,500	7,500				10,250	B 4	0	2,500	0	2,500	0	2,500	1,250	0	0	0				875	B 5	0	0	0	0	0	0	0	2,500	0	0				250	合計	40,000	54,000	59,000	51,500	52,500	66,500	53,917	70,500	37,500	30,000				51,542
	月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	56下平均	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	56上平均																																																																													
A 4	32,500	42,500	50,000	40,000	37,500	47,500	41,667	57,500	30,000	22,500				40,167																																																																														
A 3	7,500	9,000	9,000	9,000	15,000	16,500	11,000	10,500	7,500	7,500				10,250																																																																														
B 4	0	2,500	0	2,500	0	2,500	1,250	0	0	0				875																																																																														
B 5	0	0	0	0	0	0	0	2,500	0	0				250																																																																														
合計	40,000	54,000	59,000	51,500	52,500	66,500	53,917	70,500	37,500	30,000				51,542																																																																														
<p>・社内規定類保管のデータ - 化</p>	<p>各種規程類のデータ化</p> <div style="text-align: center;"> </div>																																																																																											

環境管理活動実施報告 4

平成 17 年 度		
	施 策	実 施
利害関係者の課題	<p>・盛越川の定期清掃などに参画</p>	<p>・5月23日社員16名により盛越川の清掃を行う。</p> 
要請	<p>・アイドリングストップの要請</p>	<p>・納入業者へアイドリングストップの協力要請を書面で行う また、看板や幟を立て励行を徹底した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: small;">納入業者様 各位</p> <p style="text-align: center; font-size: large; color: blue;">アイドリング・ストップ</p> <p style="font-size: x-small;">弊社におきましては、ISO14001認証取得を目指し、環境保全活動を推進しております。つきましては納入いただく各業者様におかれましても、CO₂削減のため弊社協定でのアイドリングストップ及び6km以下の走行を厳行し、一丸となって地球環境保全に努めたく思いますので、ご協力をお願いします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">  <div style="text-align: right;"> <p>KSK 湖国精工株式会社 ISO推進事務局</p> </div> </div> </div>  
購入	<p>・環境に優しい車両の購入 (平成18年3月)</p>	

環境管理活動実施報告 5

平成 17 年 度																																																																																			
	施 策	実 施																																																																																	
利害関係者の課題	・地球温暖化防止	<p>・CO₂排出量の削減</p> <p>2001年から切替えを図ってきた、空調機の電気からガス化へは本年度をもって大型機は終了した。電気使用量によるCO₂出量の換算数値は前年対比で-2,647kg (-1.7%) 下回った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CO₂ 排出量 実績</p> <p style="text-align: center;">単位: kg</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">前年: 平成16年4月～平成17年3月</th> <th colspan="2" style="text-align: left;">本年: 平成17年4月～平成18年3月</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th></th> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> <th>年間排出量</th> <th>月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年排出量</td> <td>11,004</td><td>8,059</td><td>13,621</td><td>14,773</td><td>16,313</td><td>12,663</td><td>12,776</td><td>11,288</td><td>12,550</td><td>11,530</td><td>15,952</td><td>12,444</td> <td>152,974</td> <td>12,748</td> </tr> <tr> <td>本年排出量</td> <td>13,092</td><td>9,584</td><td>11,536</td><td>13,027</td><td>15,369</td><td>14,898</td><td>13,012</td><td>12,042</td><td>11,761</td><td>10,746</td><td>13,445</td><td>11,816</td> <td>150,327</td> <td>12,527</td> </tr> <tr> <td>前年対比量</td> <td>2,088</td><td>1,526</td><td>-2,086</td><td>-1,746</td><td>-944</td><td>2,235</td><td>236</td><td>754</td><td>-789</td><td>-785</td><td>-2,507</td><td>-628</td> <td>-2,647</td> <td>-221</td> </tr> <tr> <td>前年対比率</td> <td>19.0%</td><td>18.9%</td><td>-15.3%</td><td>-11.8%</td><td>-5.8%</td><td>17.6%</td><td>1.8%</td><td>6.7%</td><td>-6.3%</td><td>-6.8%</td><td>-15.7%</td><td>-5.1%</td> <td>前年対比</td> <td>-1.7%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	前年: 平成16年4月～平成17年3月		本年: 平成17年4月～平成18年3月					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間排出量	月平均	前年排出量	11,004	8,059	13,621	14,773	16,313	12,663	12,776	11,288	12,550	11,530	15,952	12,444	152,974	12,748	本年排出量	13,092	9,584	11,536	13,027	15,369	14,898	13,012	12,042	11,761	10,746	13,445	11,816	150,327	12,527	前年対比量	2,088	1,526	-2,086	-1,746	-944	2,235	236	754	-789	-785	-2,507	-628	-2,647	-221	前年対比率	19.0%	18.9%	-15.3%	-11.8%	-5.8%	17.6%	1.8%	6.7%	-6.3%	-6.8%	-15.7%	-5.1%	前年対比	-1.7%
	前年: 平成16年4月～平成17年3月		本年: 平成17年4月～平成18年3月																																																																																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間排出量	月平均																																																																					
前年排出量	11,004	8,059	13,621	14,773	16,313	12,663	12,776	11,288	12,550	11,530	15,952	12,444	152,974	12,748																																																																					
本年排出量	13,092	9,584	11,536	13,027	15,369	14,898	13,012	12,042	11,761	10,746	13,445	11,816	150,327	12,527																																																																					
前年対比量	2,088	1,526	-2,086	-1,746	-944	2,235	236	754	-789	-785	-2,507	-628	-2,647	-221																																																																					
前年対比率	19.0%	18.9%	-15.3%	-11.8%	-5.8%	17.6%	1.8%	6.7%	-6.3%	-6.8%	-15.7%	-5.1%	前年対比	-1.7%																																																																					
・工場周辺の騒音調査	<p>・本社・工場周辺の近隣住宅の境界において、等価騒音レベルの基準値を70dBとして管理し、平成18年2月16日調査の結果54dBであり、基準値をクリアした。</p> <p style="text-align: center;">測定チャート別添</p>																																																																																		

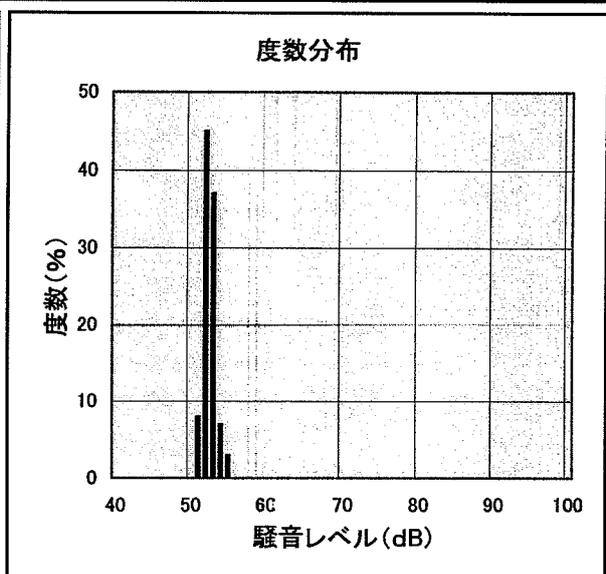
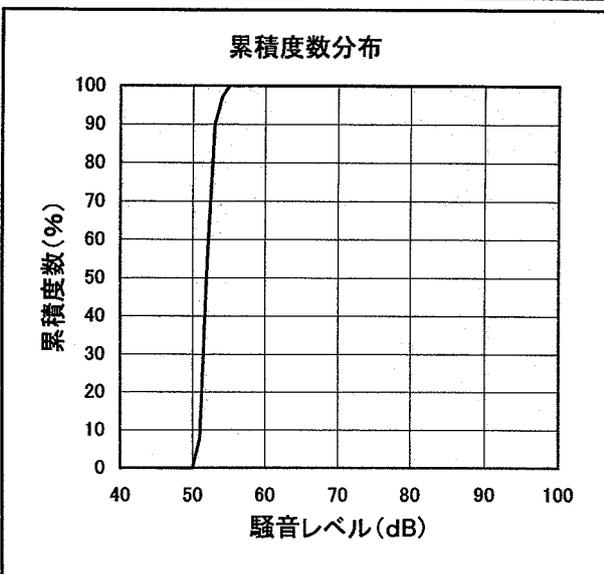
敷地境界線における騒音測定結果

測定場所	湖国精工 株式会社				
測定点	1	時間区分	昼		
測定日時	平成18年2月16日 (木)		10時35分 ~ 10時47分		
測定者	岡田 薫				
気象			測定器		
天候	雨	気温	10.5 °C	騒音計	リオン NL-06 (00792434)
風向	南西	湿度	73 %	レコーダー	リオン LR-04 (83103364)
風速	0.6 m/sec	気圧	1003 hPa	聴感補正 動特性	A特性 FAST

測定結果											単位: dB
末位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1位	51	51	51	52	53	53	53	53	53	54	
10位	54	53	53	53	52	52	51	51	53	52	
20位	53	53	53	53	52	53	52	53	52	53	
30位	52	52	52	52	53	52	52	52	53	52	
40位	53	52	52	52	53	52	52	52	53	52	
50位	52	52	52	51	52	55	53	54	52	54	
60位	52	52	53	53	53	55	52	52	52	52	
70位	51	52	53	53	53	53	53	53	54	53	
80位	54	54	55	53	53	52	52	52	52	52	
90位	52	52	52	52	52	51	52	53	53	53	

累積度数										
末位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
40位										
50位		8	45	37	7	3				
60位		8	53	90	97	100				
70位										
80位										

騒音レベル	中央値	90%レンジ下端値	90%レンジ上端値	平均値
	52 dB	51 dB	54 dB	53 dB





10:35



36

RP-01D



38
RP-01

敷地境界 (騒音・振動) 湖国精工

計量証明 No. K05-0455

平成 18 年 2 月 16 日

測定点 No. 1

時間区分 朝 (昼) 夕 夜

時刻開始 10:35

時刻終了 10:47

天候 晴 曇 (雨) 雪

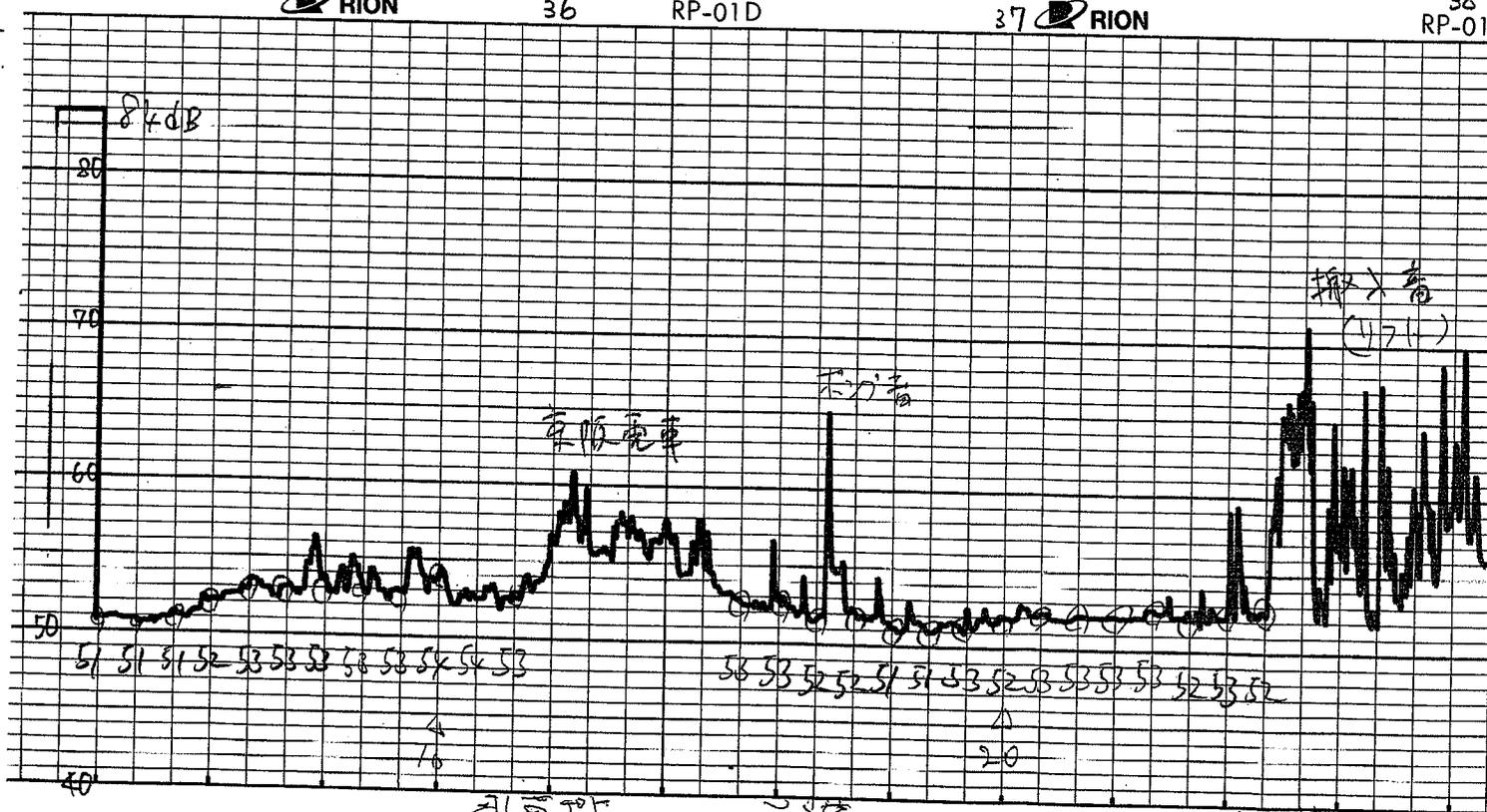
気圧 1003 hPa

気温 10.8 °C

湿度 73 %

風向 南西

風速 0.6 m/s



38
RP-01D

RION 39

RP-01D 40

RION

41 RP-01D

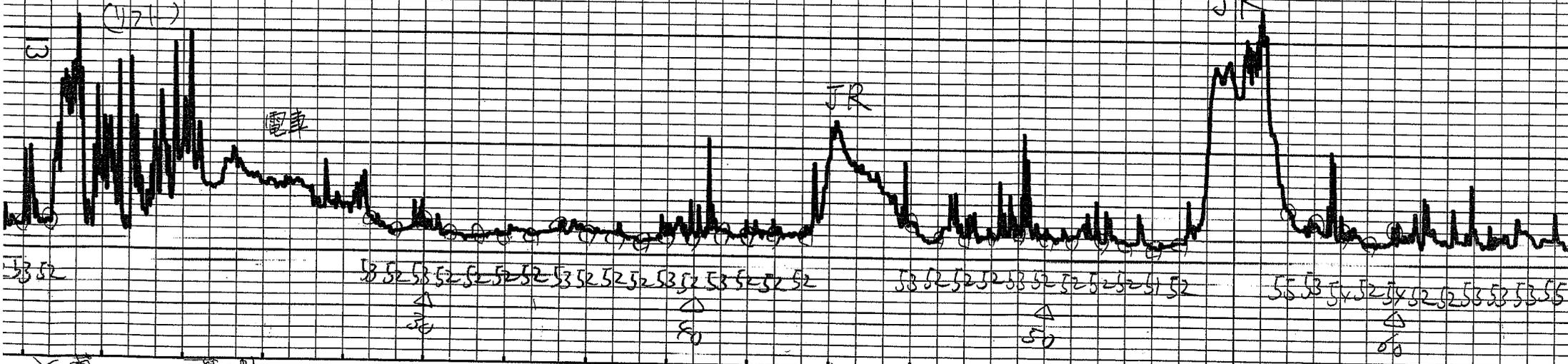
42 RION

搬入音
(121)

電車

JR

JR



Handwritten notes at the bottom left of the grid.

Handwritten note 'P' at the bottom center of the grid.

Handwritten notes at the bottom right of the grid.

42 RION

43
RP-01D

RION44

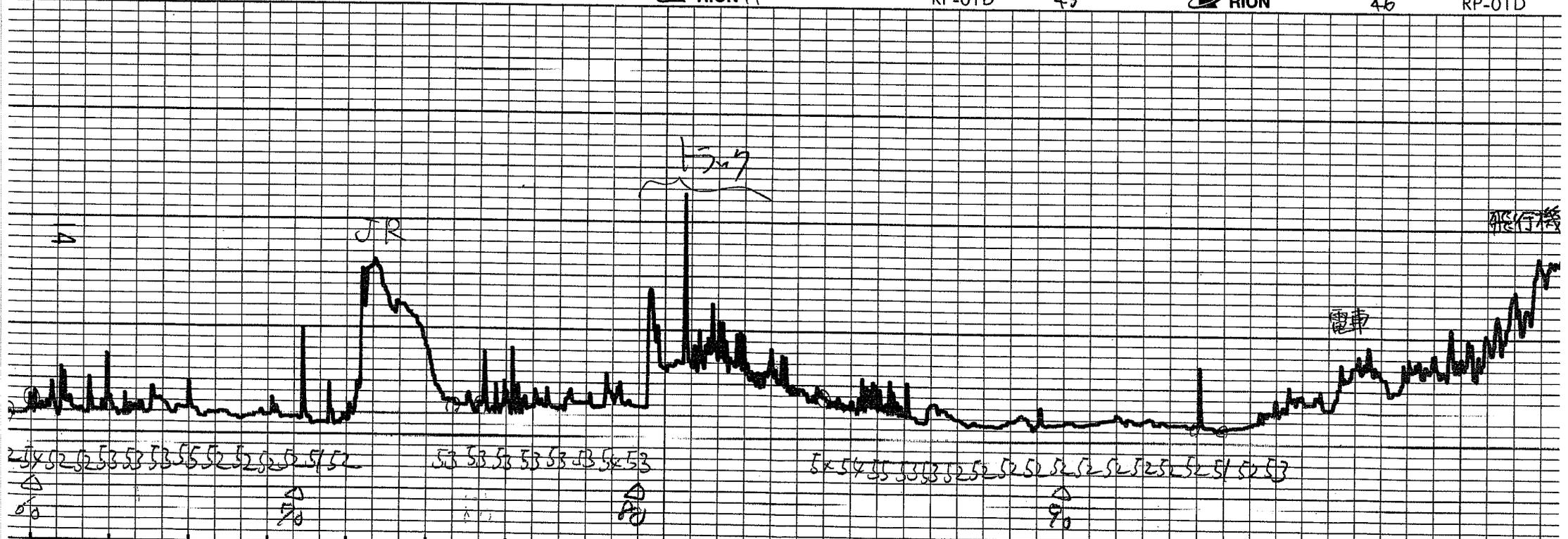
RP-01D

45

RION

46

RP-01D



52 53 53 55 52 52 51 52
 Δ
 90

53 53 53 53 53 53 53 53
 Δ
 90

54 55 53 53 52 52 52 52 52 52 51 52 53
 Δ
 90

→

→

→

→

46

RP-01D

47  RION

